

働く男のライフスタイル情報紙

[ビズスタ東京]
Biz Life Style

特別版

2018 09

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都、仙台、福岡、広島、岡山にて68万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作/株式会社デリースポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2018 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



ファッションは、哲学が造るもの。

世界が恋する製品には、必ず豊かな物語がある…
高級カシミアニットで世界を制したファッションブランド「ブルネロ クチネリ」と
イタリア中部「ソロメオ村」の幸せなエピソード

My Favorite Life Style



スロー&ラグジュアリー。イタリアの高級カシミアニットブランド「ブルネロ クチネリ」の40年。

- 14世紀の古城(左)はソロメオ移転当時、本社屋とアトリエ、ファクトリーとして使用されていた。現在は世界最大の店舗に、麓に豊かな緑が広がるテラスの上には職人学校がつけられた。
- 自らの手を用いてものを生み出す「職人」の誇りが、イタリアの若者の中でも薄れてきた頃、再びその誇りと尊敬を取り戻し、大切なイタリアの伝統技術が絶えることのないようブルネロ・クチネリは職人学校をソロメオの地に設立した。
- 14世紀の古城をはじめ、中世の息づかいを感じる村の建物。壁のいたるところにブルネロ・クチネリの敬愛する偉人の言葉がプレートにして埋めこまれている。
- 2008年に完成したクチネリ劇場。ルネサンス期のスタイルをモデルとした建築様式。「美」の力を信じるブルネロ・クチネリにとって、建築、絵画、音楽、そして服にも、そこに宿る美しい精神を感じ、人間の価値そのものを再発見する機会と考えている。
- ソロメオの谷の風景を一望できる「哲学の庭」。ゆったりと瞑想できる場にもなる。友情と文化の象徴であるアート・フォーラムの一部。
- 各国の本が並ぶライブラリー。ひとりで過ごしたり、ゲストと語り合ったり、あるいは古代の人々と書物を通して対話したり。こちらもアート・フォーラムの一部となる。

イタリア企業平均給与よりも厚遇されているのだが、職人の技術を正当に評価することとで品質は向上し、ブランド価値も高まる。利益優先ではなく「利益循環」を求める姿勢はクチネリ氏の成育過程に関係しているという。彼の父は農業から工場勤務へと転職したのだが、その労働者の尊敬を踏みにじる環境に次第に父から笑顔が消え、彼は胸を痛めた。この経験から、彼の会社は従業員の仕事環境について何より大切に考えるようになった。

独自の人間主義を貫く本物の「ソノリア・カパー」

ジャンニジャコポ・ソロメオの思想に触れ、「仕事は大都市よりも自然のある村」という信念を固めていたクチネリ氏はソロメオ村の再生と運動する形で仕事場づくりに米田シンゴパレの11企業群の質を高める。環境の質は仕事の質を変えてくれる。ブルネロ・クチネリは、流行の「職場環境の改善」の面でもハイオテの一角と言えるかもしれない。

途上国まで巻き込むファストファッション戦争を横目に、同社は2013年に職人技術を次代に継承するための職人学校を村内に開校し、またひと夢を叶えたミラノやロンドン、ニューヨークを世界中心に華やかな直営店を展開しつつ、その裏側には、自営店の手で再生した村を舞台に、職人の世界を地道に護り続ける。その技術を以て経営者が顧客と社員に幸福を追求しながら、地域の発展に貢献する。まさに「本物のソノリア・カパー」だからこそ、職人たちは安心して上質な製品づくりのみに没頭できるのだ。

ブルネロ・クチネリといえばカシミアニット製品。日本での取扱いは20年近くが経過し、最近ではブランドイメージが広く定着しつつある。高感度なカシミア繊維には糸速に脱法するが、同社は同名のイタリア人が創業したシグナチャイブランド、上質を極めた着心地、厳選された素材が醸す豊かなニードル、高度なデザインとカラーリングを武器に、ファッションシーンに君臨する世界的な名門だ。創業当時は、ティエリスのカシミアフルオーダーメイドが主力だったが、近年は裾野を大きく拡大している。レディス、メンズともにシャツやジャケット、スーツからインフュウエア、シューズやバッグ、さらにはクッションやフランクット、キッドルといったライフスタイル・レクシオンまで、幅広いアイテムの数を展開している。「いつかは着てみたい」と思わせる高級カシミアアイテムは、欧米では若い層からも羨望の眼差しを集めているという。さくそくその魅力に魅了されたところだが、人々から名門と賞賛されるブランドでは、往々にして「歴史やビジョンなど、その背景に魅力を感じれば本質を理解した」とは言えないところがある。自動車やワインの世界ではお馴染みだが、ブルネロ・クチネリもそのひとつ。というわけで、まずはその成り立ちと哲学について、少しづつご紹介しよう。

なぜブルネロ・クチネリは荒廃した村を本拠地に選んだのか

イタリアの実業家ブルネロ・クチネリ氏が同社を立ち上げたのは、1978年のこと。今年で40周年を迎えるが、わずか40年で世界的なブランドへと海を渡ったことになる。創業から順調に成長を続け、19885年にフィレンツェ州ソロメオ村に本社を移転。同地は「ソノリア・カパー」で約2時間ほどかかる上に、

人間主義的資本主義「学術界でも研究が進むトレンドワードのひとつ」ともなっているが、「ここでは「働く人の尊敬を大切にすること、姿勢と考えばよいだろう。倫理面だけでなく、経済面でも「尊敬」を重視する。そんな経営者の実例として、各方面から注目を集めているのだ。

現在、同社は世界で約7000人を雇用している。そのうち約1000人がソロメオ村で働いているが、特筆すべきは、職人が多数を占めることだ。彼らは世界有数のラグジュアリーブランドとしての品質を維持するに欠かせない至。そこでアーティストとしての敬意を込めて「アルテ・ジヤマー」(二と呼び、一般職のスタッフよりも優遇しているのだが)、もっとも同社の給与と体型自体が一般的なイ

当時荒れ果てた寒村だったという。業容拡大路線の中で「ソノリア」の都市部を選択せず、の寂れた村を選んだことにはとある理由があった。

この村は、クチネリ氏本人ではなく彼の奥方の故郷だ。荒廃してはいたが、村内には中世の面影が色濃く残る建物などが点在、実に12世紀にまで遡れるという伝統と歴史は、確かに「本物」だった。この地が本来的に有していた人文的価値を再発見したクチネリ氏は、村の再生を決意。古城を買い取り、本社を移したのだ。

創業者が私財をなげうち、愛妻の故郷を再興する。感動的な逸話だが、実は単なる美談ではない。同社は、事業や製品とは別の面でも大きな脚光を浴びている。と言つのも、人間主義的資本主義を前面に掲げ、ビジネスの現場で実践してきた企業のサポータルとされているからだ。

技術を中心に循環する。職人オリエンテッドな組織体系



My Favorite Life Style



4



1

品質も、価格も、地元への愛も。何もごまかすことなく、常に「フェアに生きる」企業として。

1 職人学校のテーラリングコース。生徒2~3人に対して先生は1人。対話を通じて学んでいく。授業料は奨学金によりまかなわれると同時にインターンシップとして学生には月800ユーロが支給されるので学びと自己研鑽に励むことができる。

2 鐘の敷地にあった他社工場をリノベーションして2014年に使用開始した新社屋は、大きなガラス窓から光が差し込み、外には人をリラックスさせる噴水とソロメオの自然が広がる。

3 新社屋の中庭。いたるところにブルネロ・クチネリの敬愛する偉人の言葉の石碑が置かれている。

4 農業公園の敷地に作られた「A TRIBUTE TO HUMAN DIGNITY」(人間の尊厳へ捧げる)と彫り込まれたモニュメント。トラヴァーティンと呼ばれる石灰岩で作られた高さ約5メートル、幅24メートルのアーチの下にはプロンスで、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、オセアニアと世界5大陸の名前が書かれている。

5 約87ヘクタールの敷地には、産業公園、スポーツ運動公園、そして豊かな美りを地産地消の観点で大地にもたらす農業公園の3つが作られた。地域のコミュニティに開かれたパブリックスペースになっている。

6 パッカスの彫像を配した、ワイナリー(ワインセラー)。サンジョベーゼ、メルロー、そしてカベルネ・ソーヴィニヨンのユニークなボルドースタイルのブドウのワインが社員食堂や地元での消費用として作られる。



6



5



5



2

そして、村はさらなる発展へ現地で進む最新プロジェクト。さて、クチネリ氏が創業当時を描いたという前述のソロメオ村の再生構想は、2015年から第二フェーズに入り2018年9月4日その完成が発表された。19世紀イギリスの美術評論家ジョンラスキの思想にインスパイアされたというこれまでの修復事業は村内に残る古い家屋の修繕や道路の再整備に留まらず、アートフォーラムや「哲学の庭」、劇場や図書館として学校の建設なども推進。あくまでもその土地から発せられる声に耳を傾けることに重点を置き、人間と土地との関わりまで見据えているという目的を持ち、「働く者の尊厳を守り、経済的尊厳をもたらす」ということにも同社の企業哲学をそのまま体現していると言える。そして第2章の移行のアナウンスとともに発表されたのは、村に面した谷間に公園を造営するという計画だ。プロジェクト名「アプロのエクソフォールティー」(A Project for Beauty)の通り美しいソロメオカスでの試みは、ソロメオ

村の修復事業の完結編となるようだ。それは古代ローマの壁を含むこれまでの村の建造物の修復や劇場などの新建造物を含めてブルネロ・クチネリ社の本社として位置づけられる。計画によれば、開発対象となつた広大な敷地は、3つの公園としてソーフィアされている。野趣にあふれた色や香り、音に味わえる「産業公園」。パリアーリのシステムを擁した、スポーツ運動公園。本社食堂の地産地消を前提に、ワイン畑やオリーブ畑、果樹園などの運営を行う「農業公園」。いずれも自然への敬意、地元への愛情が強く描かれている点がポイントだ。「地元を大地を自分たちが受け継いだ時よりも美しい形で次世代に引き渡す」。30年以上前から続く村の修復事業が掲げる理念は、公共の中での私企業のある方が明らかに先取りするものだ。では、こうした事業姿勢のもとでは、どんな製品が生み出されているのか。次のページで紹介しよう。

前ページで触れた通り、現在はライフスタイルブランドとしても認知されるほど幅広いコレクションを扱うブルネロ・クチネリ。どの製品を手にしても細やかなるこだわりが見てとれるが、その背景には、会社のバックアップを受けて伸べんと実力を発揮する職人たちの存在がある。匠たちを取り巻くのは、国の伝統技術を大切に護るという面ではフランスのワイナリーを、新しい発想を育むという面ではアメリカのIT企業を思わせる「人の可能性を信じ、力を引き出す」環境。そして、岩をも通す信念で実行する経営哲学。この両輪があるから、同社は半世紀をかけた世界の中のセレクトから信頼を寄せられるブランドとなったのだ。季節ごとに変えるのではなく、スタイルが増えるという発想

消費されるだけのファッションとは異なり、立ち位置に在るわけだが、それは価格にも表れる。ブルネロ・クチネリの高品質なアイテムは決して安くはない。その理由はいくつかある。まず、職人が採り取りしないという明確な方針を徹底し、正しい報酬を支払う。あつかい、どこも誤魔化さない。無難に「コストダウン」を走れば、利益の循環の破綻は必至。フェアな姿勢を維持し、クオリティに拘われば、この価格帯は納得なのだ。そして袖を通した時に身体が一番の喜びを感じる。創業以来の「鉄の信念」だけではなく、時代に応じた新しい問いかけもある。SNS時代の「ライブショー」について、同時に「プライベートな生活が公開」なってしまうこの時代、静かに自己をみつめ、新たな英気を養う時間が奪われがちだ。人間には公私のバランスが大切であり、それを守るには互いの積み重ねの配慮が大切ではないだろうか。今季のキャンペーンビジュアルでは問いかけている。本紙の最終ページに掲載しているのでぜひご覧いただきたい。

言えども多くはないのだ。そんな思想は、製品の質感にはつきりと現れている。店頭で手にした時点で、早くも指先に伝わってくる満足感。素材が厳選されていること、細部まで造りにこだわり抜いていること、即座にわかる。服を、シーズンの取り替え引換え、着き込めるわけがない。前述のクーザーは、ボタンダウンにキー左巻きでない「逆」に、フロントにスタイルが増える「逆」に、服であることを指しているのだ。職人の待遇から情報発信まで、徹底する独自の信念。

My Favorite Life Style



コート 848,000円(税別)



ノースリーブ・カーディガン 841,000円(税別)



ニット 197,000円(税別)



ブルネロ クチネリのスーツスタイルは様々なシーンを演出できる自由なコーディネートも魅力となっている。

圧倒的なオリジナリティを誇る
シーズコレクションの数々

企業としてのあらゆる活動に
読得力のある理由を見出すこ
とができるブルネロ クチネリ。
その姿勢は、製品づくりのさら
に鮮やかに浮かび上がる。

同社のコレクションは、ス
ポーツ・シック、ラグジュアリー
を基本コンセプトに毎シーズ
のコンセプトが組み立てられて
いる。例えば2018年のコレ
クションは、まず「プレイス」を
未来への展望と古代への響きが
共鳴したカシミア、レトロ、
フューチャーなどが複層的に絡
む特別な世界観を表現した
「フュークアルケミー」二万のメン
な発想を取り込みながら、経験
と創造力の融合によるコンパ
ンリリーなスタイルを追求した
「ナチュライン・ヘリテージ」。こ
れらのコンセプトの下地には、ソ
ロメオ村の風景と自然の構成
要素からインスピレーションを
得た独自のカラーリングを組
み合わせた確固たるメイド・イ
ン・イタリアの物語が広がる。

中でも本誌が注目したいの
は、拡充がアナウンスされている
メンズ・スーツ分野だ。ライフ・ス
タイル・ブランドの視点を活かした
独自性が特徴で、ジャケットはパ
ンツのセパレート展開や、ミッド
＆スーカールなどのスポーツ・
シックなコーディネートなど、
テーラードスーツの枠を超えた
スタイルを続々と投入予定だ
か。今後の発表を楽しみに待ち
たい。

流行を超えてワードローブを
構成していく「簡単には手放せ
ない服」だが、ブルネロ クチネ
リの真髓。取扱ショップの腕を
掲載してあげたい。ぜひ店頭で
手に取ってほしい。

シーズンごとに練り上げられる、スポーツ・シック ラグジュアリーな世界観。
イタリア職人の技術が際立つ、ブルネロ クチネリのコレクション。

●取扱店舗

M=メンズ L=レディース

銀座店 M L	TEL.03-5537-7080	札幌三越 本館5F M L	TEL.011-242-5288
青山店 M L	TEL.03-5467-5155	松坂屋名古屋店 本館2F M L	TEL.052-264-2082
玉川高島屋 西館1F M L	TEL.03-3700-5680	大阪高島屋 2F M L	TEL.06-6632-9339
日本橋高島屋 2F M L	TEL.03-3231-2725	阪急メンズ大阪 3F M	TEL.06-6312-0010
伊勢丹 新宿店 メンズ館4F M	TEL.03-6709-9750	阪急うめだ本店 5F L	TEL.06-6313-0506
本館4F L	TEL.03-6709-8189	大丸心齋橋店 北館3F M L	TEL.06-6251-2087
日本橋三越本店 本館6F M	TEL.03-3278-8011	京都高島屋 2F M L	TEL.075-252-7093
本館3F L	TEL.03-3278-6805	大丸神戸店 BLOCK31 M L	TEL.078-391-8388
銀座三越 6F M	TEL.03-3535-6390	福屋八丁堀本店 3F M L	TEL.082-246-6305
阪急メンズ東京 3F M	TEL.03-6252-5432	大丸福岡天神店 東館2F L	TEL.092-716-8822
西武池袋本店 本館6F南 M	TEL.03-5949-2888	岩田屋本店 本館5F M	TEL.092-707-3137
本館4F南 L	TEL.03-5949-2782	岩田屋本店 新館4F L	TEL.092-406-5016

ブルネロ クチネリ ジャパン TEL.03-5276-8300 / www.brunellocucinelli.com



シーアイランドコットン・ジャケット 370,000円(税別)
ベスト 190,000円(税別)
シャツ 59,000円(税別)



ムートンアウター 920,000円(税別)
ジョールカラー・カーディガン 370,000円(税別)



カーディガン 240,000円(税別)

HUMAN PRIVACY

人間としてのプライバシー

BRUNELLO CUCINELLI JAPAN Co., Ltd. 03-5276-8300



BRUNELLO CUCINELLI

www.brunellocucinelli.com